

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生態機能学Ⅰ呼吸器・循環器・血液		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限		教室名	
担 当 教 員	木元 貴祥	実務経験とその関連資格	ウエルシア薬局にて薬剤師として勤務			
《授業科目における学習内容》						
<ul style="list-style-type: none"> 解剖学的 内容から実際の生理学的内容の解釈:例えば、健常者から疾患患者での違い等、を主に行います。 血液の生理と造血のしくみ、止血のしくみ、血液型などについて理解する 循環器の構造と機能について理解する 						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(合格は本校の定める判定基準に準拠する)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ 人体の構造と機能①解剖生理学 メディカ出版						
《授業外における学習方法》						
教科書の予習復習、関連参考書学習						
《履修に当たっての留意点》						
講義予定範囲の教科書予習と講義内容復習。わからないことは必ず質問すること。 解剖学的内容を実際の生理学的に結び付けて考え、今後の看護に生かせるよう自ら考えることが重要です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学的内容を実際の生理学的に結び付けて考えること	教科書		
		各コマにおける授業予定	解剖学的内容から生理学的内容まで			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学的内容を実際の生理学的に結び付けて考えること	教科書		
		各コマにおける授業予定	解剖学的内容から生理学的内容まで;肺機能検査と心肺機能検査			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学的内容を実際の生理学的に結び付けて考えること	教科書		
		各コマにおける授業予定	解剖学的内容から生理学的内容まで;心肺機能検査			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学的内容を実際の生理学的に結び付けて考えること	教科書		
		各コマにおける授業予定	国家試験問題を踏まえて			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の解剖生理とその役割を理解習得すること	教科書		
		各コマにおける授業予定	血液1:血液の組成と機能			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の解剖生理とその役割を理解習得すること	教科書	
		各コマにおける授業予定	血液2:血液の凝固と線維素溶解		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の解剖生理とその役割を理解習得すること	教科書	
		各コマにおける授業予定	血液3:血液型と輸血		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の解剖生理とその役割を理解習得すること	教科書	
		各コマにおける授業予定	循環器1:体循環と肺循環・心臓の構造(心室、心房、弁、心筋)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の解剖生理とその役割を理解習得すること	教科書	
		各コマにおける授業予定	循環器2:心臓の構造(心室、心房、弁、心筋、冠状血管と神経支配)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の解剖生理とその役割を理解習得すること	教科書	
		各コマにおける授業予定	循環器3:心臓の構造(冠状血管と神経支配)・心臓の興奮とその伝搬(心電図)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の解剖生理とその役割を理解習得すること	教科書	
		各コマにおける授業予定	循環器4:心臓の興奮とその伝搬(心電図、不整脈、心停止)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の解剖生理とその役割を理解習得すること	教科書	
		各コマにおける授業予定	循環器5:心臓の収縮(心拍出量と血圧・心周期)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の解剖生理とその役割を理解習得すること	教科書	
		各コマにおける授業予定	循環器6:血管(動脈・静脈)の構造		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の解剖生理とその役割を理解習得すること	教科書	
		各コマにおける授業予定	循環器7:血圧		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の解剖生理とその役割を理解習得すること	教科書	
		各コマにおける授業予定	循環器8:リンパとリンパ管		